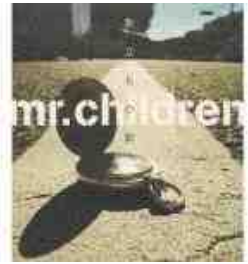


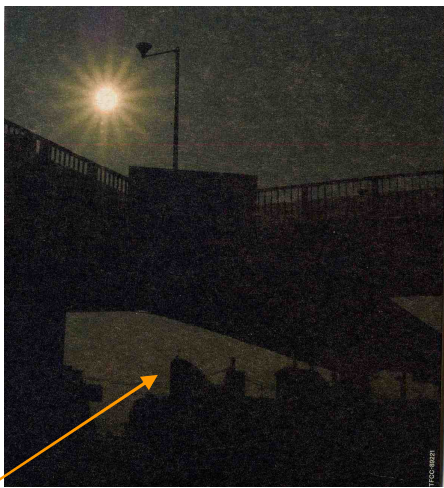
ミスチル ばがぼんど



去年の10月発売の「旅立ちの唄」。月日の経つのはほんとに早い。いろんなものがどんどん使い捨てられていくように、歌も少なからずそういう宿命を持つものだと思います。みんなの心が違う歌に移って行っても、わたしたちファンの中でこの歌は、歌い継がれ成長していく歌になっていくと信じております。



今月は「旅立ちの唄」ジャケット写（CD収納面）からのぼがぼんどです！ ちょっと見にくいんですが



左の写真に歩道橋が映っているのがおわかりになるでしょうか？ここはどうみたって富ヶ谷の交差点。山手通りと井の頭通りが交差する渋谷の名所です。

（名所だってえ?!）

歩道橋にある街灯を見てください！同じでしょ。

このビルにも注目！



この交差点にかかる歩道橋はX型で、中央に立つとどの方向にも橋があってけっこう面白い。新宿方面にはオペラシティも見えます。そのお向かいにはアスキーの本社ビルがあります。写真右は富ヶ谷交差点に立つCacco隊員。実は2000年1月に富ヶ谷の交差点を訪ねたときのもの。あれえ、もう8年も前なわけ？信じられない。もしかして若い？あ、全然変わってないか!(^^)!なぜ8年前にこんな場所で写真を撮っているかというと・・・



2000・1・18発売18thシングル「口笛」のジャケット写真は、この富ヶ谷の歩道橋から、渋谷を背にして世田谷方面を映したもののなのです。なんか手近な場所を2回もジャケットに使うなんて誰かスタッフにこの近所に住んでる人がいるんでしょうか?? (DG・Vol.15号でもこの場所を取り上げてます)

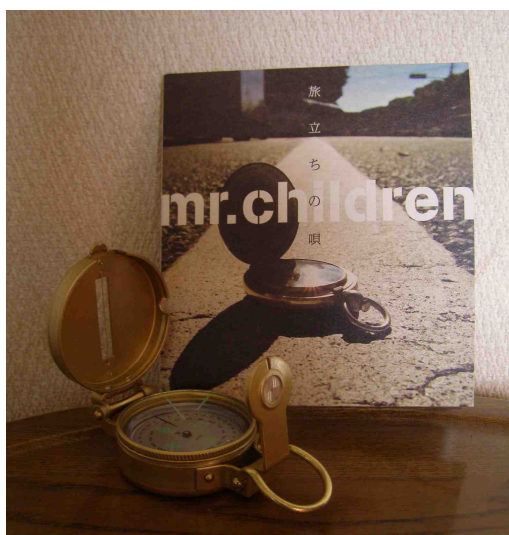


写真の半円形のビルがきちんと「旅立ちの唄」のジャケットにも映っています。歩道橋のXに交差するちょうど真下です。

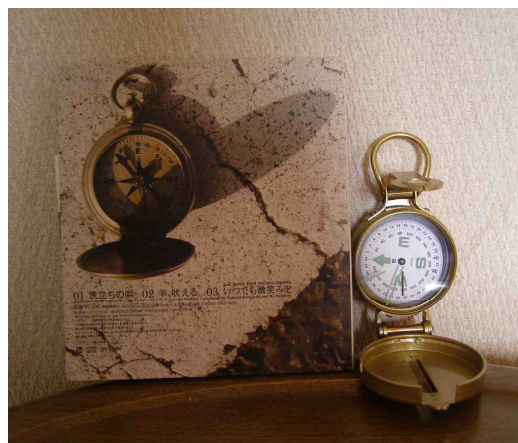
このビルです。

というわけで富ヶ谷の交差点はミスチルファンにとっては特別な場所(聖域!)と言えるわけです。

ところで「旅立ちの唄」のジャケット写(表面)には道端に置かれたコンパスが映っています(この道路って異様にでこぼこだけど、やっぱり富ヶ谷近辺なんだろうか?)。DG Vol. 47号の表紙はこのジャケットからいろいろいただいています(パクってますの)。最初はコンパスがこういうもののだとは知らず、疑いもせず懐中時計とっていました(汗)



そんなわたしにうさおさんが本物のコンパスを買ってきてくれました。そっくりです。うれしい!(Caccoのご機嫌をとるのなんて簡単ね)



実は・・・このコンパス、超高性能で桜井さまのいらっしゃる方角だけを指し示すのですよ。いざ光の射す方へ。行くぞ。